

「今月の1枚」



写真1 イロハモミジの果実。翼があり風で散布されます。カエデを漢字で書くと「楓」。風流ですね。



写真2 オレンジと赤のグラデーションが美しいイロハモミジ。



写真3 (おまけ) ドウダンツツジ。

イロハモミジ (カエデ科) *Acer palmatum*

今年はことのほか紅葉が鮮やかです。

イロハモミジは日本の低山に自生する落葉高木で、庭にもよく植えられます。

秋に紅葉しますが、よく見ると黄色からオレンジ色までバリエーションに富んでいます。秋になると緑色の元になるクロロフィルが分解されブドウ糖になり、これがアントシアニンと結合することで赤色が生まれます。

日がよくあたる場所で赤色が強く出ているように見えますが、同じ場所に植わっていても赤みが違う場合があるので個体差があるのかもしれません。

(写真・文：酒井 敦)

(No.241 2013.12.5 掲載)